

3. 地方や諸外国の状況

(1) 地方の家庭的保育の状況

家庭的保育を実施する自治体の特徴

- ・関東地区に集中
- ・待機児童が多く、低年齢児保育ニーズが高い
- ・地方単独事業として実施する自治体が多い(定義や運用の形態は一律ではない)
- ・国庫補助事業を導入する自治体は少ない
 - 国庫補助を導入していない理由
 - ・すでに単独事業で実施しているため、二重構造にせざるを得なくなり、実施体制が複雑になる
 - ・国庫補助事業は保育者の資格要件が厳しい
 - ・連携保育所該当する保育所がない
 - ・連携保育所を指定することは、連携保育所への負担増となる

自治体における家庭的保育の必要性

- ・多様な保育ニーズに対応するさまざまな選択肢
- ・認可保育所の低年齢児保育の補完
- ・認可保育所の待機児童問題の緊急対応策

家庭的保育を強化・充実するための条件

- ・連携保育所と家庭的保育の連携強化
- ・児童福祉法に家庭的保育を制度として位置づけ
- ・事業の重要性のPR